

## 令和5年度 対話型鑑賞教育 ファシリテーター養成講座カリキュラム

船橋市文化・スポーツ公社

船橋市民ギャラリー

## 1 ファシリテーターの養成講座日程及び内容

	月日 時間	内容	講師	会場、備考
第1日【4時間】	10月17日(火) 10時～12時	①対話型鑑賞教育の意義と授業参加の留意点(2時間) ・第2次船橋市文化振興基本方針について ・重点プログラム「アートでつながるまち ふなばし」における対話型鑑賞教育の意義 ・学習指導要領における図画工作、美術科の目標及び内容と鑑賞教育の現状と課題について ・特別な配慮を要する児童への対応について	(文化課)  (指導課)  (総せ)	市民ギャラリー 第4展示室
	13時～15時	②基礎講座:対話型鑑賞教育の理論と方法(2時間) オリエンテーション 30分 ・アイスブレイク/参加者自己紹介 ・講義「対話型鑑賞教育の意義と内容について」 30分 ・体験「アートカード体験講座」 授業の内容を実際に体験してみる(1) 気づいたこと考えたことを共有する 質疑応答	山本雅美 【アドバイザー】	
第2日【4時間】	11月14日(火) 10時～12時	③基礎講座:アートカードファシリテーター実践講座(2時間) ・授業の説明 ・授業案に基づきファシリテーターを実際にやってみる ・小学校の実践を想定した準備をする ファシリテーターの心得を考え共有する(グループワーク)	山本雅美	市民ギャラリー 第4展示室
	13時～15時	④基礎講座:VTS体験講座(2時間) ・所蔵作品展の内容紹介/所蔵作品展の目的について ・所蔵作品展の出品作品でVTSを体験する (VTS～Visual Thinking Strategy) ・見学会の内容について伝える ・アートカードの授業から見学会への接続を考えたファシリテーションについて と方法論～アートカードと対話型鑑賞について ・アートカード体験_実際の授業を体験してみる(2) ーアートカードの授業の意図と目的	山本雅美	※アートカードを一人1セット

第3・4日【5時間×2】	11月27日(月) 船橋小	⑤⑥⑦⑧実践講座:アートカードの授業の体験 所蔵作品展見学会(文化課)事前授業で、教室実習実施 (午前) ・ファシリテーター、サブファシリテーター活動実践研修(3時間30分) ※メインとサブの両方を体験する。サブはOJT研修の位置付け。対話記録を作成する。 ※全体を見るコーディネーターは山本が担当 ※授業の進行は山本が担当 (午後)実践講座「授業の振り返り」(1時間30分) ・活動体験後の話し合い/フォローを行う ・ファシリテーターの活動について細かい調整を行う *活動報告書、対話記録の執筆(在宅勤務)	山本雅美  (文化課学芸員)	3校のうち2校に参加  各学校
	11月28日(火) 湊町小			
第5日【4時間】	11月29日(水) 海神小			
	教室実習 9時 ～12時30分 13時30分 ～15時30分			
第5日【4時間】	12月15日(金) 10時～12時	⑨対話型鑑賞教室の振り返り(2時間) ・学校での授業を終えての話し合い ・翌年度の事業の紹介	山本雅美	5階茶華道センター 第123和室
	13時～15時	⑩船橋の美術史について「船橋市所蔵作品展見学」(2時間) ・船橋市所蔵作品/船橋アートカードの紹介 ・学芸員によるギャラリートーク(14時～15時) ※所蔵作品展のギャラリートークに参加する	山本雅美  (文化課学芸員)	
第6日【2時間】	2月27日(火) 14時30分 ～16時30分	⑪美術鑑賞フォーラムに参加(2時間) 「対話型鑑賞教育」の推進について	山本雅美  他未定	市民ギャラリー 第1展示室
全6日 24時間 座学6時間 実習16時間 講演会参加2時間				

## 2 ファシリテーター説明会

- (1)日時 令和5年7月18日(火) 10時～11時30分  
(2)場所 市民ギャラリー 第1展示室  
(3)内容

内容(時間)	担当
①船橋市における対話型鑑賞教育の経緯について	文化課
②養成、採用計画、雇用条件等説明	公社
③船橋市民ギャラリーの対話型鑑賞教室について(30分) ・対話型鑑賞教室とファシリテーターの役割について ・船橋市所蔵作品の活用について:船橋アートカード ・アートカード体験会	山本
④質疑応答	